

スペイン人画家とサクラ交流

広島市南区の「さくらっ子共同保育園」の園児9人が28日、同区の段原西集会所で、スペイン人画家キク・ポックさん(51)と一緒に桜の絵を描いた。

2辺四方の布にポックさんがアクリル絵の具で幹と花の輪郭を描き、子どもたちは花びらの部分にピンクの手形を付けた。約1時間で作品が仕上がると、みんなで拍手をして喜んだ。年長の杉

南区で園児アート作り

上雪音ちゃん(6)は「すごくきれいな絵」と喜んでいた。

同園が設立5周年を記念して29日から3日間、西区の大型商業施設広島マリーナホップで開くチャリティー絵画展の一環。ポックさんは出展画家の一人で、この日描いた桜の絵も展示する。収益の一部は広島土砂災害の被災者支援に充てる。

(福田彩乃)

ポックさん(奥中央)の手ほどきで桜を描く園児たち

